

2015 年度総会開催

2015 年度活動方針発表

視野を広く! 中国そしてアセアンを学ぶ

◆ 日時: 2015年4月16日 ◆ 場所: 道頓堀ホテル ◆ 参加者: 25名 ◆ 委任状: 14名

記念講演▶
大島 一二 氏



総会あいさつ 落合会長 ▲



4月16日に道頓堀ホテルで2015年度日中経済交流研究会の総会と記念講演が開催されました。

活動報告として、①中国国家観光局の葛燕氏より観光ビジネスに関わる若きエリートの挑戦②ベトナム在住の樋崎氏よりベトナムビジネスの最前線報告③訪中団参加者による中国の現実④大阪大学大学院の深尾氏よりグローバルビジネスについての計4回の例会。香港、深圳への訪中団の成果。月刊誌やパンフレットを通じて、当会の情報発信がなされたことが、落合会長より報告されました。

その後、2015年度の活動方針案として、中国を中心にアセアン諸国にも視野を広げ日本を取り巻く経済の実態を学び、グローバルな視点で自社を俯瞰することで自らの立ち位置を認識し、経営指針に生かすという案が発表されました。また、2015年度予算案、役員案も発表され、質疑応答の後、拍手で議案が承認されました。

最後に、落合会長より同友会が初めて訪中団を出したのが今から50年以上も前の話で、その後の文化大革命を乗り越えて現在まで引き継がれているという事実が語

られました。この歴史はこれからも引き継いでいこうと会員皆が思いました。

総会終了後、桃山学院大学国際センター長・大島一二氏より「世界から愛される日本の食、その現状と課題」というテーマで記念講演がありました。日本食が世界から愛され人気があるのに、日本の農業が衰退してきている。この皮肉な矛盾を紐解きながら、「これからの日本人の食料をどうしていったらよいのか」を考える機会を与えていただきました。会員の興味も深く、質疑応答も活発におこなわれました。その答えは簡単ではなく、人それぞれできることは異なるかもしれませんが、自分たちの身近な観点で日本と世界の共存を考える良い機会となったと思います。

今年度も、日中経済交流研究会の活動方針に基づいて例会、訪中団、広報と実践に役立つ活動が行われます。当会に興味を持たれる方は、年会費10,000円。一日たった28円の学びの会です。役員または事務局泉谷までお問い合わせください。お待ちしております。

文：大山印刷(株) 大山 武久